

公共交通ネットワークについて

1. 公共交通ネットワークの考え方

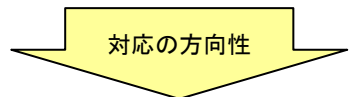
「宇都宮市都市・地域交通戦略」では、公共交通ネットワークの課題を「公共交通空白地域・不便地域の存在」、「バス運行のサービス配分が不均衡」「公共交通の相互連携が不十分」とし、以下に示すように、現在のネットワークを「幹線・支線・地域内交通」といったように役割に応じた再構築を行い「階層性のあるネットワーク（魚の骨ネットワーク）」を確立するとの方向性が示されている。

公共交通ネットワークの課題

- 公共交通空白地域・不便地域の存在
- バス運行のサービス配分が不均衡
- 公共交通の相互連携が不十分

目指すべき方向

- 過度に自動車に依存せず持続性の高いまちをめざす。
- そのため、公共交通の不便な地域を出来るだけ無くし、高齢者や障がい者など誰もが利用しやすい公共交通ネットワークを構築する。



ネットワーク再構築による総合的な対応

現在のネットワークを公共交通モードの役割に応じた再構築を行い「階層性のあるネットワーク」を確立する。
 ⇒基幹・幹線・支線・ミニバス（循環バス、コミュニティバス）・乗合タクシー等

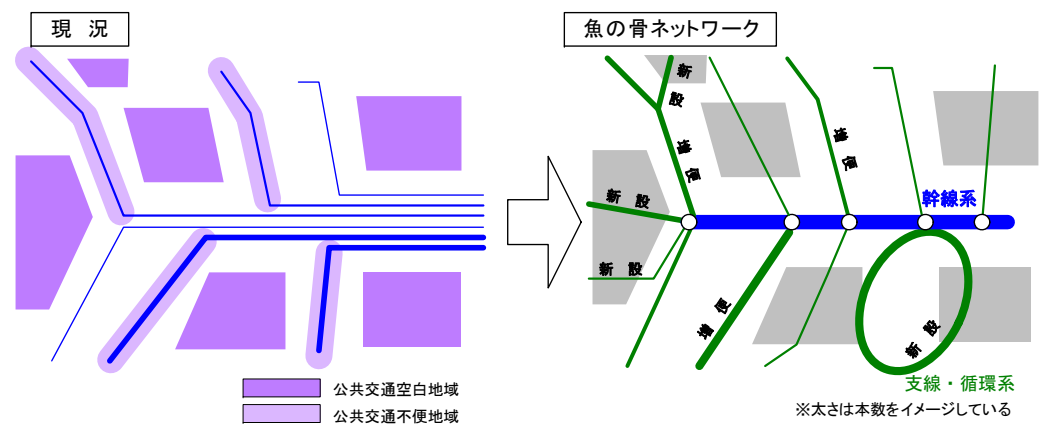


図 ネットワーク再構築のイメージ

2. 目指すべき交通体系の階層性イメージ（中長期）

・乗合タクシーやミニバスなどの導入による空白地域の解消をはじめとし、都市軸となる幹線の強化、さらには、輸送力が高い交通機関としての基幹公共交通の整備による、階層性をもったネットワークへの転換を図る。

都市内 市街化区域 拠点間	<p>乗合タクシー等</p>	<p>【導入想定箇所・区間】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・郊外部における集落等が点在する地域 <p>【求められるサービス等】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・日常生活の移動を確保するため、その地域の実状にあったサービス水準
	<p>ミニバス（循環バス・コミュニティバス）</p>	<p>【導入想定箇所・区間】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・市街化区域における、都心部内や日常生活の移動を中心とした地域 ・郊外部において一定規模の需要が見込める地域 <p>【求められるサービス等】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・市街化区域においては、円滑で快適な日常生活等を支えるサービス水準 ・都心部においては、周遊行動の支援を図るための高いサービス水準 ・郊外部においては、日常生活の移動を確保するため、その地域の実状にあったサービス水準
	<p>幹線・支線交通</p>	<p>【導入想定箇所・区間】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・拠点間を結ぶ都市軸等の幹線 ・公共施設や集落等をつなぐ支線 <p>【求められるサービス等】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・都市軸等の幹線については、円滑、快適な都市活動の促進、土地利用誘導の観点から、より高いサービス水準 ・支線については、円滑で快適な移動手段を支えるサービス水準
	<p>基幹公共交通</p>	<p>【導入想定箇所・区間】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・幹線のうち、一定規模以上の輸送力が求められる区間 <p>【求められるサービス等】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・バスや鉄道からの乗り継ぎを考慮して、待ち時間を気にしないで利用できる高頻度かつ定時性の高いサービス水準 ・様々なライフスタイル、都市活動に対応したサービス水準